

また、化学実験室には、液体クロマトグラフ、ガスクロマトグラフ等の分析機器を設置し、酸性雨等の森林に及ぼす影響の研究や森林土壌の研究を行っています。

遠隔探査実験室には、衛星データの解析装置を設置し、人工衛星データによる森林現況の解析や、地理情報との組み合わせによる森林の管理手法の開発を行っています。

情報処理室には、エンジニアリングワークステーション（EWS）2台、端末機3台を設置し、地理情報の解析や多変量解析など、パソコンでは対応できない高度な統計解析ならびに数値計算に利用しています。

その他、樹木生理実験室、立地解析実験室、機械実験室、動物実験室、天敵実験室、昆虫飼育室等があり、各分野における先端的な研究に取り組んでいます。

研修施設としては、大型ビデオプロジェクターを完備した講堂、コンピュータ操作等を実習するための情報演習室、森林工学実習室、造林実習室、森林保護実習室があり、これらの施設を利用して林業関係者を対象とした技術研修をはじめ、一般道民に森林・林業の知識を普及するための研修など、年間約40件の研修が行われています。また、講堂内の映写室にはビデオの編集装置が配備され、研究成果の紹介や林業普及用ビデオの作成が可能となりました。

図書室には現在約14,000冊の林学分野を中心とした図書と、森林・林業に関する資料が収集・保管され、研究員をはじめ研修生や一般来場者の方々にも利用されています。



実験・研修棟



2階ロビーレリーフ（題名：方輪，作者：中野英満）



クリーンルーム



イオンクロマトグラフ解析装置



情報処理室



図書室



講堂



映写室

研修宿舎

完 成 平成2年12月

構 造 鉄筋コンクリート造 地上2階

規 模 延 面 積 1,176.00 m²

1階面積 675.00 m² 2階面積 501.00 m²

実験・研修棟の完成に伴い、当場で開催される研修は年間約40件を数え、約700人の研修生が訪れます。これらの研修生が快適な環境で研修生活を送れるよう、宿泊施設を整備しました。

この研修宿舎の収容定員は46名(26室)で、一般研修生宿泊室のほか長期研修生宿泊室、講師宿泊室があります。また、衛星放送テレビや調理器具等を設備した海外研修生宿泊室も確保されています。研修生の福利施設としては、体育館とミーティングルーム等があり、屋外にはテニスコート一面を整備しました。

また、研修宿舎の内装には道産材をふんだんに使用しており、木材のもつ暖かみと優しさは研修生にも好評です。



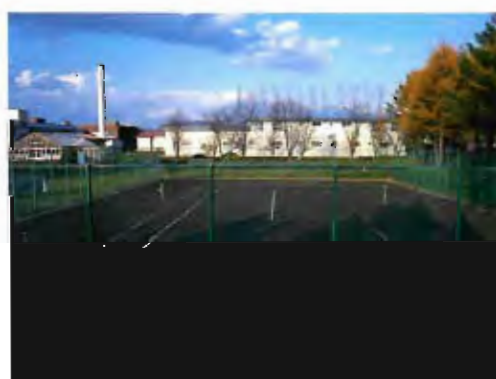
研修宿舎



食 堂



体 育 館



テニスコート

展示館

完 成 平成 5 年 3 月
 (開館平成 5 年 5 月予定)
 構 造 鉄 骨 造 地上 1 階
 規 模 延 面 積 350.00 m²



展 示 館

森林や緑に対する関心が高まるなか、当場を訪れる視察・見学者は年々増加し、研修生等と合わせると年間約 3,000 人の来場者があります。これらの方々に対し、当場で取り組んでいる研究の成果や森林・林業の情報を分かりやすく展示し、森林・林業に対する認識を深めてもらうため、平成 5 年 5 月開館を目途に展示館を整備しています。

その展示内容は次の 6 つのゾーンにわけて示されています。

- ①プロローグ：林業試験場の役割および地球環境を守る森林の役割
- ②世界の森林・林業とその現状：日本および世界各地の森林・林業の現状と環境保全との関わり
- ③北海道の森林・林業と緑の財産：北海道の森林・林業の概況と代表的森林景観
- ④森林・林業の新しい技術開発：林業試験場で取り組んでいる最新の研究成果
- ⑤明日の森林・林業を考える：地球規模の環境保全に貢献する森林・林業をとりまく課題と展望
- ⑥森と緑のライブラリー：北海道の森林に生息する動植物や森林の親しみ方の紹介、森林・林業の文献の提供、来場者の相談の受け付け

また、展示館自体も展示物の一つという観点から、カラマツ等の遺産材を内外装の各所に使用しています。

これらの施設が整備されたことにより、バイオテクノロジー、コンピュータや化学解析機器、高性能林業機械を駆使した研究が可能になりました。

また、現在までに蓄積された研究成果や技術を現場に移転し、林業関係者はもとより、広く一般道民に森林・林業の知識を普及するための研修・普及の場が確保されました。

今後は林業試験場が森林・林業の総合的な研究・指導センターとして機能していくため、これらの施設を有効に活用するとともに、それぞれの持つ機能を相互に補完しながら、相乗効果が創出されるような管理・運営を進めていきます。